

おいしいお米育て



土にすき込む前のクリムソクローバーの田んぼで遊ぶ園児
〓6日、福井市河水町

マメ科肥料植物 福井ですき込み

福井市河水町の田んぼで6日、田植えに向けてクリムソクローバーのすき込みが行われた。真っ赤なねこじらしのような花が咲き誇った田んぼの一部は、地元の岡保こども園の子どもたちに開放され、園児の歓声が響いた。

クリムソクローバーは、マメ科の植物。土にすき込むことで肥料となるため、化学肥料を使用せずに米作りができる。同町の農事組合法人「こつすい」は9年前から、クリムソクローバーをすき込むなど有

機に近い米作りに取り組んでいる。

5年前からは、こども園に田んぼを遊び場として提供。この日、園児たちは花を手にして走り回っていた。大木勇汰郎ちゃんは「4は「いっぱい花を集めて、ママにプレゼントしたい」と楽しそうだった。

同法人の吉田優一朗さん(71)は「環境の負担軽減が図れるだけでなく、子どもたちの笑顔が見ることができて大きな意義があると考えている」と話した。

作られた米は9月中旬に収穫され、「クリムソクローバー米」として同市河増町の「喜ね舎」で販売される予定。(前田遠太)